



卓 話



「クラブ協議会」

クラブ協議会議事進行役を勤めさせていただく次年度幹事の酒井です。4月14日の地区協議会（於ける：椿山荘）で、次年度の勉強をしてまいりました。

本日は会長及び四大奉仕委員長に報告をして頂きます。



☆曾我次年度会長

次年度RIの李会長予定者のテーマは「Make Dreams Real」—夢をかたちに—です。全世界を見るとアフリカをはじめ恵まれない地域で、5歳以下の子供たちが1日に3万人亡くなっています。つまり年間1千万の子供たちが飢え、病気で亡くなっているという事です。それに対して国際ロータリーでは水を、医療を、教育を与えていこう、それが「Make Dreams Real」—子供たちに夢と希望と目標を—です。この事に関しては我々が直接に何かをするというよりも、国際ロータリー財団を通して、色々な形で国際奉仕をするという事です。その中で一番重要なことは、子供達に教育を与えるという事です。特に識字率を上げることが大切であるということでした。その点当クラブはラオス、ネパールの学校に寄付をし、継続的に援助しています。また、国際ロータリーが大きな事をするにはやはりお金が必要という事で、会員一人100ドルの寄付の要請がきています。それから2580地区から提唱のあったポリオ撲滅運動ですが、そろそろ終結させようとの事で、支援金として1クラブ1000ドルの寄付の要請が来ています。ロータリー財団だけではなく、ビルゲイツ財団も1億ドルの寄付をし、ロータリー財団も1億ドル集め、あわせて2億ドル供出しようということです。しかし、ビルゲイツ財団の寄付には前提条件があり、ロータリー財団が3年間で1億ドル集められないと、そのビルゲイツ財団の寄付は返さなければなりません。そのような訳でポリオ撲滅も資金によって支援させて頂くということがテーマとして持ち上がっています。

次年度の李会長は、韓国で会員拡大をさせてクラブを活性化された実績のある方だそうで、各クラブに会員拡大と

いうことをテーマとして掲げています。

第2580地区の櫻井ガバナー予定者は「活力のあるクラブを目指して」をテーマにあげています。毎年どこのクラブのガバナーでもクラブライフを活性化するというテーマを謳います。総論としては簡単ですが、各論としては難しいテーマであろうと思います。又次年度は特に広報に力を入れ、各クラブの活動をお互いに報告し、良い活動は参考に活性化を図ろうという事でした。

こうしたRIと2580地区のテーマを受け、四谷ロータリーでは「参加しやすいクラブ活動を目指す」を次年度のテーマにしたいと思っています。ロータリーは地域、職業で選ばれた人達の集まりであり、色々な業種の人が集まっているのですから、お互いに情報交換し、ビジネスに生かしていく事が必要だと思います。又30代から80代まで3世代交流の場でもあります。中堅、若手の人達は先輩のビジネスや人生の経験話を聞き、そして先輩には若い人達の意見も取り入れて、世の中の流れを認識して頂く、そうした2wayの交流をしていきたいと思っています。次年度は気楽に参加出来る例会。親睦活動の運営を進め—具体的には、まず例会以外で月1回、第3月曜日の6時から親睦夜間会を定期的に行って、交流を計りたいと考えております。又RIもポリオ撲滅に力を入れてますので、我々も出来る限り協力をしていきたい。会員拡大については心強い若手の先輩を紹介して頂く事を考えていますが、まず現在の会員が楽しくクラブライフが出来るようにし、会員間の交流が深まれば、必然的に出席率も高くなると考えています。

☆坂本次年度クラブ奉仕委員長

浅川ガバナーが次年度の櫻井ガバナーの意を受けてお話ししたことが4つ程ありました。

1. ロータリーの活動はクラブ奉仕で決まる。SAA、親睦、ニコニコ、ソングリーダー等、クラブの例会運営を円滑にしていく為重要なものです。各クラブ独自の考え方で盛り上げてもらいたいということでした。
2. 次年度より広報室、室長が新設されるということです。（因みに広報室長は、宝田明氏に委嘱する）
3. ロータリークラブは他の団体が利益を追求するのに比べ、他に類を見ない奉仕団体として特出されるのだという事に誇りを持って、各活動を進めて欲しいとのことでした。
4. 「おかげさまの心で夢をかたちに」を地区テーマに、活力あるクラブを目指して欲しいとの事でした。

東京四谷ロータリークラブのクラブ奉仕委員会方針としては、曾我次年度会長エレクトの活動方針を受けて次の5点を

原点にすえて行きたいと考えます。

1. 皆さんが楽しく参加しやすいクラブ活動（特に例会）を目指す。
2. ここ数年続けている手作りの親睦委員を支援する。
3. 夜間例会・炉辺に相応しいテーマを選び活発化する。
4. 新入会員に対するオリエンテーションを充実させ、会員増強を図る。
5. 会員間の交流、特に3世代交流を活発化する。

各会員は、全て1国1城の主であり、その立場と考えを尊重しながらロータリー活動の推進・活性化にご協力願えるよう最大の努力を続けますので、何卒宜しくご支援下さい。

☆向山次年度社会奉仕委員長

1. 社会奉仕室という名称で今回は行われました。各委員会の役割、活動を調整する部屋の意だと伺いました。東京清瀬RC下井善廣室長、浅草中央の斎藤影悟副室長とカウンセラーは前川昭一パストガバナーでした。
2. 社会奉仕は、4つの仕事に分かれています。青少年育成、環境保全、ローターアクト、インターアクト活動です。
3. 青少年育成に関して、家庭のしつけの欠如や近隣地域社会でのルールやマナーを学ぶ機会がなく、学習意欲、目的をもって勉強に打ち込む、夢を持った青少年少なくなっている現状に対してRCは地域社会、学校とともに子供たちをそだてるための方法として①中学、高等学校へのロータリー会員である講師派遣（当会は現在6名）と②職場体験の提供を地域の学校と組んで実施されたいとの話し（当会は4事業所）。
4. 今回は、ローター、インターアクトについての話しはありませんでした。当クラブは活動をしていません。
5. 現年度より新しい活動委員会として発足の環境保全については、「本日会場まで公共交通機関の電車、バスまたは、歩いて、自転車までこられた方は手を上げて下さい」と始められました。地区全体で実績が分かる取り組みを模索中とのこと。例えば、白熱電球を蛍光電球に替えることにより消費電力が抑えられる。一定期間で電氣量を実施前と比較して実績を公表したい。いろいろなアイデアを募ってクラブで実践していきましょう。

例えば、バーチャルウォーター：（牛1頭を輸入するとその飼育の為に穀物が使った水も輸入量との考え方。ステーキ肉700g/1890ml風呂10杯分）水を使っている。水の取り合いになる時代を意識化する。また、環境意識啓蒙と打ち水効果等のため建物の雨水をためてビオトープを作る案などができました。実際の活動例として地区大会で各RCの行った会長賞などを受賞した活動内容についての簡潔な発表がありました。東京江戸川中央RCは「もったいない」著者マータイを図書館に寄贈し感想文を募集して表彰。毎日新聞と組んでマータイさんのビデオ上映をPTAと子供に見せ、夏休みの研究課題としてエコ作品やマイ箸バッグを作ったのは東京麹町RC。国蝶のオオ紫蝶を飼育、命と生態系の体験を提供したのは東京リバーサイドRCなどです。当クラブも四谷らしい環境保全のアイデアを模索しましょう。

☆廣本次年度職業奉仕委員長

職業奉仕も室と委員会があり、室は職業奉仕セミナーを開催し、職業奉仕委員会は各会の委員長の会議を行い、それぞれの情報交換をするということです。佐藤、小澤パストガバナーから話がありましたが、佐藤パストガバナーは今まで職業奉仕は簡単に「四つのテスト」に合わせて自分の職業を行うと言われてきたが、社会の様相が変化してきて、その一言でも言えなくなってきたとおっしゃっていました。また小澤パストガバナーは自分がしている事がお客様の為になるという形でやってきたが、今は株主の為にという事で思うように社長としての活動が出来なくなってきたとの事でした。

それでは職業奉仕とは何かということで、アーサー・シュルドンの「奉仕の理念」からの一言をご紹介します。「自らが儲けるために職業についているという考えを捨てて顧客の満足を最優先しつつ、自らも職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心を捉えてリピーターとして何度も事業所を訪れ、新規の顧客を紹介してくれるはず。その結果大きな利潤が得られると共に、その事業は継続的に発展していくはず。」これはまさしく、自分達が行おうとしている現代の理論と一緒です。職業奉仕は分かりにくいですが、次年度は月に一回程度、自分の勉強した事を皆さんの前で発表していきたいと思います。

☆大野次年度国際奉仕委員長

国際奉仕室は4委員会のまとめ役として活動するという事で、鯉江さんがサブリーダーを担当します。それぞれのクラブにおける国際奉仕委員会の計画を実現するために議論して欲しいということでした。四谷ロータリークラブは次期会長がおっしゃったように、ラオスへの教育支援活動が主だったものになると思います。

1. 青少年交換委員会の方針として青少年に「おかげさまの心で夢をかたちに」という理念を持って実践したいと思います。
2. 世界社会奉仕委員会の方針として、関東大震災の時、ロータリーから大変な寄付を受けたように、他国にも同じようにしていこうということです。四谷ではラオスの小学校の建設と図書寄贈をしています。他クラブでも色々な活動を行っています。
3. 対人地雷除去特別委員会が2010年2月に終了するということですが、数十万の寄付をしているクラブもあり、四谷は2万7千円ということでもう少しがんばろうということをお願いしたいと思います。
4. 2009年6月バーミンガムで国際大会が開かれますが、ロータリアンと家族200名位の参加を見込んでオン・ツー・バーミンガム委員会ができました。色々ご協力頂くこともありますが宜しくお願いします。